

授業科目

視覚機能学実習II

担当教員名 村田 憲章、谷 佳子、河内 了輔、張替 涼子 他	対象学年	2	対象学科	視機
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	3	時間数	90

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	◎	◎

授業の概要

自覚的検査と他覚的検査の違いを理解した上、それぞれの特性を考えながら検査を進める手技を身につける。眼科検査の特質である心理物理的な側面を理解し、眼科臨床において診断の基礎となる検査データを導き出す技術を習得する。

授業の目的

臨床実習Iにむけ、自覚的視力・屈折検査を中心に眼科検査に習熟することを目的とする。

学習目標

1. 自覚的検査と他覚的検査が区別できる。
2. 閾値の判定基準が説明できる。
3. レンズ交換に伴う網膜像の光学的変化がイメージできる。
4. 自覚的視力・屈折検査が実践できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1-3	ガイダンス レポートのまとめ方	実習	村田 憲章 他
4-6	自覚的視力・屈折検査 (クロスシリンダによる乱視矯正)	1st Round	村田 憲章、張替 涼子、谷 佳子、河内 了輔 他
7-9	動的量的視野検査 1 中間イソプタの測定	1st Round	村田 憲章、張替 涼子、谷 佳子、河内 了輔 他
10-12	コンタクトレンズに必要な検査	1st Round	村田 憲章、張替 涼子、谷 佳子、河内 了輔 他
13	付加度数計算	実習	谷 佳子
14	レンズメータ	実習	村田 憲章 他
15	軸転換	実習	河内 了輔
16-18	自覚的視力・屈折検査 (雲霧法による乱視矯正)	2nd Round	村田 憲章、谷 佳子、河内 了輔 他
19-21	静的量的視野検査	2nd Round	村田 憲章、谷 佳子、河内 了輔 他
22-24	眼底写真撮影	2nd Round	村田 憲章、谷 佳子、河内 了輔 他
25-27	近見視力検査	3rd Round	村田 憲章、谷 佳子、河内 了輔 他
28-30	動的量的視野検査 2 異常視野の測定法	3rd Round	村田 憲章、谷 佳子、河内 了輔 他
31-33	レンズメータ 累進屈折力眼鏡、二重焦点眼鏡	3rd Round	村田 憲章、谷 佳子、河内 了輔 他
34-36	実践トレーニング 1	実習	村田 憲章、谷 佳子、河内 了輔 他
37-39	実践トレーニング 2	実習	村田 憲章、谷 佳子、河内 了輔 他
40-42	実技の確認	実習	村田 憲章、谷 佳子、河内 了輔 他
43-45	まとめ	実習	村田 憲章 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
	視能学 第2版	丸尾敏夫、久保田伸枝、深井小久子 (編)	文光堂	2011年	18,000円+税	

教科書	眼科検査ガイド 第2版		文光堂	2016年		2016年春に発売予定
参考書						
その他の資料	視覚機能学実習Iの配布資料					

評価方法

定期試験 40%
 実技試験 30%
 提出物 30%

履修上の留意点

再試験・追試験は必要があれば原則として1回のみ実施する。
 締め切りを過ぎた提出物は原則として受け取らない。

オフィスアワー・連絡先

毎週水曜日の昼休み
 P201
 murata@nuhw.ac.jp